



- 令和2年度社協の事業と予算
- 親子交流センターが移転しました



おめでとうございます

長年の活動に対し、8人の民生児童委員に表彰状を！
～表彰状を受け取り近藤安来市長と記念撮影～

(関連記事4頁)

令和2年度

社協の事業

少子高齢化の問題は、家族構成や地域社会の在り方といった、福祉の根幹に係わる変化をもたらしています。特に、買い物や通院通学など日常生活が、高齢者や子育て世代等にとって大きな負担となっており、人口減少等に一層拍車をかける原因の一つと考えます。

こうした状況を受け、本会では「安来市地域包括支援センター」を中心に、多機関との連携・協働により「地域包括ケアシステム」の構築と「地域共生社会」の実現に向けた取り組みに邁進してまいります。

さらに、生活支援体制整備事業では、生活支援コーディネーターを3名配置し、住民自らが地域の生活課題について考え実行する「協議体」を市内全交流センター単位で設置すべく努力いたします。

平成30年に改正された生活困窮者自立支援法ですが、就労・家計・住まいの課題を抱える困窮者へ、包括的支援体制の強化が図られたことを受け、相談事業や既存の生活困窮者支援のメニュー等をフルに活用し、包括的に支援する体制をさらに強化いたします。

○新型コロナウイルス感染症により、今年度の事業活動が、変更を余儀なくされていますが、状況を見ながら、最大限事業実行に努力するとともに、生活に影響を受けられた方々の支援に精一杯努めます。

◇その他の事業です◇

(上記以外の事業です)

●生活困窮者支援

新型コロナウイルス感染症の影響で、生活に支障がある方の相談支援につき、安来市社会福祉法人連絡会との協業事業や、安来市からの委託事業をあわせ、重点的に取り組みます。

特に、相談事業や福祉資金の貸し付け、家計支援、入居債務保証事業、フードバンク事業につき、お気軽に問い合わせ下さい。

また、金銭管理、ゴミ屋敷清掃支援事業等、従来の寄り添い型の支援を継続してまいります。

※福祉資金の貸し付けは5頁に詳しく掲載しています。

●介護予防への取り組み

高齢者の増加を受け「地域包括ケアシステム」の構築が進められ

ていますが、その目的は、高齢者に一日でも長く、生まれ育った地域の、自分の家で暮らしていただくことです。そのためには、地域の協力と、本人の健康維持が必要になります。

今年度も、自治会単位で取り組んでいただく「ミニサロン事業」や交流センター単位程度で取り組んでいただく「ミニデイサービス事業」等予定していますが、特にミニデイサービスでは、新たに男性高齢者向けのウォーキングを中心にした集まりを、試行的に実施予定です。(2教室予定)

また、ミニデイサービス等のスタッフを支援する「生活支援ボランティアポイント制度」も、引き続き実施してまいります。



令和2年度 地域福祉事業予算

(単位：千円)

事業名	予算額
法人運営事業	104,102
福祉サービス利用援助事業	5,130
地域福祉推進事業	1,256
家族介護者教室事業	93
寄付金会計事業	11,400
民生融金貸付事業	11,404
つどいの広場事業	9,100
共同募金配分金事業	14,207
高齢者生活福祉センター事業	16,465
権利擁護センター事業	1,518
ミニデイサービス事業	3,309
ボランティアセンター事業	300
ミニサロン事業	3,339
生活支援ボランティア事業	364
生活支援体制整備事業	12,712
高齢者生活ボランティアポイント事業	1,534
養育支援訪問事業	25
新たな支え合いファンド事業	1,000
ファミリーサポートセンター事業	6,066

令和2年度 介護保険事業予算

(単位：千円)

事業名	予算額
訪問介護事業	15,338
通所介護事業	57,450

令和2年度 公益事業予算

(単位：千円)

事業名	予算額
家計相談支援事業	5,400
生活支援事業	391
居宅介護支援事業	9,588
伯太老人福祉センター事業	711
生活困窮者自立支援事業	9,000
就労準備支援事業	1,820
地域包括支援センター事業	114,008
広瀬社会福祉センター特別会計	2,220
スパーク広瀬特別会計	1,254
広瀬町名誉町民顕彰館特別会計	734

●ボランティアの育成

地域活動の担い手や、地域包括ケアシステムの構築に向け、ボランティアはなくてはならない存在に成っています。

そこで、引き続き「マッチングシステム」を中心に、地域での互助システムの開発など行っています。

●青少年の健全育成事業

安来市社会福祉法人連絡会等と協業で、こども食堂の普及に努めます。特に、未実施の伯太町内では、本会が直営で実施しています。また、地元スタッフによる開設に向け、尽力いたします。

また、安来市城谷(旧城谷保育所)に移設した「親子交流センター」

」の運営を通し、つどいの広場事業、ファミリーサポートセンター

事業などを中心に子育て支援を実施します。

(親子交流センターについては4頁に掲載しています)

その他、青少年育成協議会を通じた各地区独自の事業や、小中学校の福祉教室やボランティア体験事業への協力をしていきます。

●その他

・共同募金運動等々共同募金会や日本赤十字社の事務局として活動を実施支援します。

以上の様に、今年度もたくさんの方の事業を予定していますので、みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

親子交流センターが 移転しました。



本会では、子育て世代の交流と、支援を目的に「親子交流センター」を安来市から受託運営しています。

同センターは、今年1月20日、黒井田町より、南城谷の旧城谷保育所（ローソン城谷店隣）に移転いたしました。

親子交流センターでは、

子育て中の皆さんが、気軽に触れ合える場所として「つどいの広場」を運営しています。広場では、毎月誕生会など、イベントもあります。

さらに、子育てのお手伝いをするシステム「ファミリー・サポート・センター」を運営しています。このシステムは、子

育てをお手伝いしていた
だく「まかせて」会員と、
子育ての困りごとを頼み
たい「おねがい」会員、
そのどっちもできる「ど
っちも」会員を登録いた
だくもので、たくさん
の会員が日々活動をして
おられます。

そのほか、いろいろな
活動をお手伝いいた
だくボランティアの方も、
募集していますので、
お気軽に声をかけて下
さい。

なお、現在新型コロナ
ウイルス感染症の影響で、
開館日時等変則にな
っていますので、本会
のホームページ（安来市社協で
検索下さい）等確認の上
来所下さい。

●問い合わせは

電話 23-7050

長年の功績をたたえ

令和2年3月30日、
令和元年度厚生労働大臣表彰が、8名の民生児童委員退任者に贈られました。

民生児童委員は、地域の相談役として、行政や社協と協力し、地域福祉向上に努めていただいています。

この度の受賞者8名は、市役所で、近藤市長から晴々とした表情

で、表彰状を受け取っておられました。

◆受賞者紹介

- ・板垣 紀雄 様
- ・大塚もと子 様
- ・奥野 啓子 様
- ・北尾 忠昭 様
- ・中尾 英子 様
- ・花谷 久代 様
- ・原 由美子 様
- ・細田 進 様

(順不同)

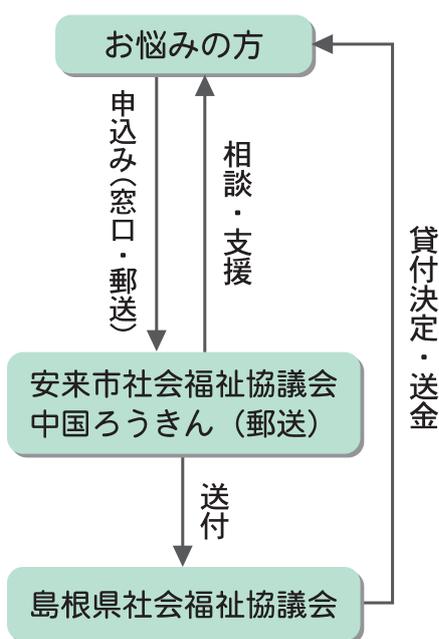


新型コロナウイルス感染症の影響による休業・失業の方へ 〈緊急貸付のご案内〉

社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や失業を余儀なくされ、生活資金にお困りの方向けに、緊急小口資金や総合支援資金の貸し付けを実施します。

ただし、新型コロナウイルス感染症により、社会の状況が日々変化中、以下の貸し付け条件等も、変更することがありますので、本会のホームページで確認または、直接お問い合わせ下さい。

貸付手続きの流れ



※中国ろうきん(郵送)での取り扱いは緊急小口資金のみ

主に失業された方等へ 〈総合支援資金〉

◆対象者

新型コロナウイルス感染症の影響で、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難な世帯

◆貸し付け上限

- ・単身世帯……………月15万円以内
- ・2人以上世帯………月20万円以内
(貸し付け期間は原則3月以内です)

◆措置期間 1年以内

◆償還期限 10年以内

◆貸し付け利子、保証人

無利子・保証人不要

◆申し込み

下記本会まで

主に休業された方へ 〈緊急小口資金〉

◆対象者

新型コロナウイルス感染症の影響で、休業等により収入の減少があり、緊急的かつ一時的な生計維持のための資金が必要な世帯

◆貸し付け上限

20万円以内
※ただし、条件により貸付金額の上限は変動しますので、お問い合わせください。

◆措置期間 1年以内

◆償還期限 2年以内

◆貸し付け利子、保証人

無利子・保証人不要

◆申し込み

下記本会の他、県内の中国ろうきん

問い合わせ・申し込みは、安来市社会福祉協議会 TEL 23-1855

社会福祉事業推進のため善意のご寄付ありがとうございました

《受付 令和2年2月1日～令和2年4月30日》

多くの市民の方から安来市社会福祉協議会に多額のご寄付が寄せられました。ここに厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

一般寄付

寄付者氏名	金額
安来町 野坂 功介 様	金一封
安来市老人クラブ連合会 様	金一封



香典返し

住所	寄付者氏名	金額	物故者名
新十神町	門脇 弘美 様	金一封	孝之 様
宇賀荘町	石輪 春樹 様	金一封	茂 様
黒井田町	内田 元貴 様	金一封	吉紀 様
安来町	山崎 幹雄 様	金一封	信江 様
西赤江町	島田 篤紀 様	100,000円	直子 様
安来町	野坂 克之 様	金一封	明雄 様
久白町	島田 俊 様	金一封	綾子 様
赤江町	山崎 宏之 様	金一封	正 様
赤崎町	原 浩 様	金一封	郁夫 様
月坂町	飯橋 康治 様	金一封	智恵子 様
新十神町	瀧山 好子 様	金一封	定義 様
植田町	田中 良 様	金一封	正明 様
古川町	足立 光久 様	金一封	春男 様
安来町	青戸 厚志 様	金一封	賢 様
安来町	清山 薫 様	金一封	八千枝 様
吉佐町	田中 陽子 様	金一封	晴 様
安来町	矢田 一恵 様	金一封	佐次 様
安来町	内田 英孝 様	金一封	延雄 様
島田町	安松 敏雄 様	金一封	カズエ 様
黒井田町	山崎 徹 様	金一封	裕子 様
久白町	板持 清己 様	金一封	典子 様
折坂町	新田 康男 様	金一封	快三 様
植田町	石井 敏郎 様	金一封	武敏 様
安来町	松岡 久美子 様	金一封	勝美 様
黒井田町	山口 幹夫 様	金一封	洋子 様
西赤江町	足立 靖志 様	金一封	武 様
新十神町	伊藤 清治 様	金一封	操 様
安来町	野口 雅穂 様	金一封	美穂子 様
宇賀荘町	田中 敬子 様	金一封	勝則 様
黒井田町	岩田 美喜子 様	60,000円	久子 様
飯島町	門脇 政則 様	金一封	操 様
安来町	内田 智保子 様	金一封	貴志 様
島田町	岩崎 浩也 様	金一封	啓子 様
飯島町	成相 澄 様	金一封	母里:寺田アキコ 様
荒島町	金山 誠 様	金一封	萬吉 様
田頼町	池田 嘉明 様	金一封	嬉久江 様
赤江町	山本 元治 様	金一封	安子 様

住所	寄付者氏名	金額	物故者名
折坂町	杉原 弘一 様	金一封	弘祥 様
松江市	奈良井 和夫 様	金一封	安来町:美佐代 様
切川町	二岡 洋文 様	金一封	正道 様
黒井田町	佐伯 和子 様	金一封	實 様
飯島町	酒多 宏明 様	50,000円	美紗子 様
安来町	飯島 利朗 様	金一封	照子 様
吉佐町	原 寿弘 様	金一封	忠一 様
菅原	山川 美弥子 様	金一封	隆 様
布部	北川 祥照 様	30,000円	幸子 様
松江市	小林 武治 様	金一封	西比田:壽美子 様
布部	恩田 由生実 様	金一封	道子 様
石原	坂田 宏樹 様	金一封	恵子 様
宇波	小林 光昌 様	金一封	栄 様
広瀬	清山 浩志 様	金一封	實 様
町帳	永澤 利治 様	金一封	ミツ子 様
下山佐	足立 伸一 様	金一封	壽 様
西谷	栩木 美敏 様	金一封	久雄 様
広瀬	市川 卓也 様	50,000円	加代子 様
布部	北川 皓玄 様	金一封	時子 様
石原	宇山 弘則 様	金一封	光枝 様
広瀬	山根 盛治 様	金一封	満子 様
布部	小藤 忠雄 様	金一封	八千代 様
広瀬	田中 真 様	金一封	勝 様
下山佐	近藤 明 様	金一封	松江市:純 様
広瀬	吉田 繁之 様	金一封	和久 様
草野	梶谷 正明 様	金一封	美樹 様
東母里	稲田 成則 様	金一封	信子 様
安田	宮本 光男 様	金一封	八代江 様
東母里	原 久人 様	金一封	敏男 様
下小竹	石原 好文 様	金一封	定夫 様
赤屋	藤原 初恵 様	金一封	文子 様
母里	山本 昇 様	100,000円	忠利 様
西母里	高橋 秀彰 様	金一封	久治 様
東母里	梶瀬 東 様	金一封	雪枝 様
安田山形	原本 幸二 様	金一封	辰男 様
松江市	天早 昭夫 様	金一封	横屋:さきの 様
西母里	猪子 和明 様	金一封	昭枝 様

玉串料返し

住所	寄付者氏名	金額	物故者名
名古屋市	中村 幸子 様	金一封	西赤江町:門脇玉枝 様
飯生町	奈良 和也 様	金一封	藤子 様

住所	寄付者氏名	金額	物故者名
西赤江町	入江 能秀 様	金一封	菊枝(明美) 様
上十年畑	渡邊 修 様	金一封	好枝 様

寄付件数 80件 寄付金額 2,815,700円